

Contents

- 令和二年年頭所感
- 写真で振り返る平成31年&令和元年
- 各地方の岸田文雄後援会
- 岸田文雄のSNS



各地方の岸田文雄後援会

岸田文雄後援会は現在のところ、広島県と東京都の他、沖縄県・愛知県・福井県・静岡県・兵庫県・熊本県にあります。日本全国で岸田文雄を応援していただける多くの方の支えがあってこそです。さらにこの支援の輪をさらに広げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



◆岸田文雄のSNS

岸田文雄の日頃の政治活動などを広く国民の皆様にご覧いただくため、現在「Facebook」「Instagram」「LINE」の3つのSNSを開設しています。それぞれのSNSは特性が違い、更新内容もそれぞれ異なりますので、多くの人とお誘いいただき、ぜひそれぞれのSNSをフォローしていただければと思います。

Instagram - インスタ

写真が中心のSNSです。ここでは政治活動をはじめ、海外や地方出張の写真、また過去の写真やプライベート写真など、岸田文雄の人物が伝わるような写真を載せています。



LINE - ライン

メッセージ中心のSNSです。ここでは岸田文雄のテレビやラジオ、新聞や雑誌などの出演情報など、告知を中心に情報を掲載しています。



季刊「翔」八十二号 発行令和二年一月十八日
自由民主党広島県第一選挙区支部翔編集室
〒730-0013 広島市中区八丁堀六-1-3 和光八丁堀ビル九階

岸田文雄後援会事務所

●国会事務所
〒100-8982 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1222号室
TEL (03) 3508-7279 (直通) FAX (03) 3591-3118

●広島事務所
〒730-0013 広島市中区八丁堀6-3
和光八丁堀ビル9階
TEL (082) 228-2411 (代表) FAX (082) 223-7161

●岸田文雄ホームページ
<https://www.kishida.gr.jp/>

ケータイ用サイトQRコード



岸田文雄プロフィール

昭和32年生まれ。早稲田大学法学部卒業後、(株)日本長期信用銀行等を経て、平成5年の衆議院議員総選挙において初当選。以後9期連続当選中。

自民党青年局長・商工部会長・経理局長、建設政務次官・文部科学副大臣、衆議院厚生労働委員長などを歴任後、平成19年の第一次安倍改造内閣において内閣府特命担当大臣(沖縄担当など)で初入閣。初代消費者行政推進担当大臣として消費者庁新設の土台を作る。

平成23~24年にかけて党国会対策委員長として国会最前線で指揮をとり、与党に対して厳しい国会追及を行い、解散に追い込む。

平成24年には保守本流の政策集団である「宏池会」の会長に就任する。

平成24年発足の第二次安倍内閣において外務大臣として入閣。以降4年8ヶ月の長期間外務大臣を務め、その間オバマ米国大統領広島訪問などを実現させ、連続期間・専任期間としては戦後最長の記録を立てる。また憲政史上初の外務大臣と防衛大臣を兼務。

平成29年自民党政務調査会長に就任。党の政策責任者として大きな期待と責任を担う。

岸田文雄フェイスブック

www.facebook.com/kishdafumio



写真で振り返る平成31年&令和元年



衆議院予算委員会



台風19号非常災害対策本部



経済成長戦略本部 安倍総理申し入れ



宏池会と語る会



政調審議会



街頭演説会での一コマ



参議院選挙公約の発表



参議院選挙での応援演説



広島での街頭演説に多くの人が集まる



モグリーニEU外相と



災害被災地視察



地方で握手を求められ

令和二年 年頭所感

自民党政務調査会長 衆議院議員 岸田文雄

あけましておめでとうございます。令和二年、新しい年を迎えました。令和の時代になって初めての新年でもありますが、新しい時代の幕開けをより強く感じる新年です。

今年もいろいろな行事・予定が控えていますが、何といたっても大きな予定は我が国2度目の東京オリンピック・パラリンピックの開催であると思っています。オリンピック開催決定したのが20



自民党人生100年時代戦略本部

13年9月ですので、あれから6年4ヶ月。世界から注目を集め、そして国家的な行事でもあるオリンピック・パラリンピックについては、我が国は総力を挙げて準備を進めてきました。この東京オリンピック・パラリンピック、ぜひしっかりと心を合わせ力を合わせて成功させなければならぬと強く思っています。

そして東京オリンピック・パラリンピックが終わった後の日本についてもしっかりと思いを巡らさなければならぬと思います。前回の1964年の五輪後ですが、オリンピック景気の反動によって経済が大きく沈んだ、こうした歴史があります。今回は昨年からの予算・税制等を総動員して五輪後に向けてもしっかり備えを続けてきました。予算の成立等もしっかり図りながら、五輪後の経済の安定について、しっかりと努めなければならぬと、まず思っています。

あわせて、この新しい時代における経済あるいは社会保障の持続可能性についても、新しい年を迎えて、しっかりと考えていかなければならないと思っています。そのために成長戦略を進め、格差の

問題、分配の問題、こういった問題に心を配らなければならないと思えます。また全世代型の社会保障制度の改革についても、しっかりと結果を出していかなければならないと思えます。

さらに目を外に向ければ、環境や平和など地球規模の課題についても日本はリードしていかなければならない、こういった立場に今年はあるのではないかと思っています。

特に今年には被爆75年という節目の年でもありますし、国際的にも5年に1度開催されますNPT運用検討会議が予定されています。5年前の2015年のNPT運用検討会議では、核兵器国と非核兵器国が鋭く対立してしまい、成果文書をまとめることが出来ずに閉幕したという大変残念な結果となりました。私も当時、外務大臣として大変残念な思いをしたこと覚えています。

昨今、核兵器国と非核兵器国の対立が、核兵器禁止条約の議論等を通じてますます先鋭化しているといった状況にあり、それだけに唯一の戦争被爆国としての日本の立場は大変重要だと考えます。日本としては核兵器国と非核兵器国がともに核兵器のない世界をめざすという大きな目標に向けて議論のテーブルに着くための環境を作るべく努力して

いかなければいけないと折っています。今年、核軍縮・不拡散にとっても大変重要な年であると認識しておりますので、政府・与党としても大きな目標に向けて前進がはかれるように努力をしていきたいと改めて強く思っています。

今年も課題山積であります。私も新しい時代に向けて私も時代を担えるような一人として、しっかりと評価されるように引き続き努力を続け、そして政策を磨き、政治家としての力を蓄えていきたいと思っています。そのためには今年は大変大切な1年になります。今年も一年、どうぞ皆様のご指導・ご鞭撻を賜りながら、政治に全力を尽くして参りたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



地方政調会in広島における現地視察